ちゃぷ
彼女に抱きしめられて眠ったことは覚えている
おそらく前にもあった
だが、その前後がはっきりしないのは…

やはり…いたか
勘付いては
いたんだろう
微かな違和感では
あったがな

彼女も知っているのか
さぁ
傷つけるようなことはしていないだろうな
本人に聞いてみるといい

俺は消えない
ずっとお前と共にある
分かっている
もし
おまえの想いがオレを
上回ることがあれば
この身体はおまえに渡す

…絶対無いと
分かってるくせに
言うんだな
絶対など無い
おまえはオレなのだから
ヒュン…ケル

マァム
……知ってたんだな
コクン
オレが存在する以上あいつが消えることはないと思う
光に対するそして互いへの執着がある限り

オレを２人相手にしてるようで大変だろう…
付き合いきれないようなら…
どちらも
私にはヒュンケルにかわりないわ

いても…いいのか
いて欲しいの
存在を認められて安心したのは
もう1人のオレだけではなかった

いつから感情も共有していたのだろうか
教えてくれるかあいつのこと
もちろん！
私もヒュンケルのこともっと知りたい
ゆっくり教えて？